

2023年10月31日(火)

白石晴風会長
九十九歳 責任者

豊城 精神保健審議会 での意見

私、個人の意見としては、名取精神医療センターを
富谷へ移転することに、断固として反対。たしかに、
何故なら、仙南の精神科病院に入院している方々や
通院している方々も含めて、仮に夜間、夜間など具合
が悪くなった場合、救急医療をやっている病院も
全くなし、対応が、なまじりです。

当事者が、全く、ひとりで暮らして、かかわって
いただけない状況にあります。
当事者のためのグループホームさえ、民間の病院に併設
されたグループホームだけで、あとは、全くありません。

本人が、精神科病院を退院したくても、家族の方
が理解がなければ、看護が、良くなるでも長期入院
を強いられるてしまいます。退院後は、地域移行
支援と共に社会で生活するためには、様々な
ハード面、マンパワー、訪問活動、就労移行支援
など、こまやかな配慮が必ず必要です。

私も、一ヶ月入院していましたが、社会に出て一般の
会社で働けるかどうか、とても不安でした。

私の場合は、家族に理解があり、実家にて、精米業
也、養鶏を営んでいたため、その仕事があったので、
少ないながらも、志料をもらうことができた。その仕事を
20年ぐらいやりました。そのことが、偉い心、ウキウキ
リンクになりました。

私の妻も、実家で洋服店、ブティックを営んでいて、
 手伝いをして、給料もある程度もらっていたので、
 結婚して、なんとか生活できました、
 も(、家族に理解がないとか見放された方々を
 どうやって、送院し、地域社会で暮らせるで(よ、
 そういった、地域包括ケアシステムをなければ、社会に
 出て暮らすことは、とても困難です。
 私は、自石に任せておりましたが、殆んどそういった
 受け皿がありません。

現在、石取精神(医療センター)通院されている方が
 3000人(くらい)いるというところですが、自石からも、電車
 などで通院して、方も多いです。

現在、石取精神(医療センター)近隣には、いろいろな地域包括
 ケアがあり、24時間救急医療もやっております。

そういった永年、築きあげてきた「地域包括ケア」を
 存せ、富子に転移しようとするが、全く合点が
 いきません。デジタルにせよ、ネットは殆んど存せに
 等しいと思っております。もっと当事者の声なき声を吸み
 取り、政策を立案し、それを実現していくことも
 切にお願いいたします。

仙南のほうにも、地域包括ケアの立案し、計画
 を立てましたら、それを実現していくための、グループは、
 地、訪問活動、就労移行支援などの、人々、
 ソフト面、の、メンバーの育成を御配慮を
 お願いいたします。

宮城県精神保健福祉課
 我妻 昭夫